

マットさんに聞いてみよう

地域課題に取り組む手法は？コツは？希望は？異なる立場の人たちの協力のしかたは？



マット・ピーコックさんは、イギリスでホームレスの人びととともにオペラを制作することを通じて、彼ら・彼女らを支援する活動を行ってきました。また日本でも横浜寿町や大阪釜ヶ崎でワークショップを開かれた経験があります。今回の講座では、福祉やアートに携わっている方や研究している方の疑問や相談に対して答えてくださる予定です。

マット・ピーコック Matt Peacock

ストリートワイズ・オペラ
アーティスティック・ディレクター



ホームレスの経験のある人びとを音楽を通じて支援する団体、ストリートワイズ・オペラを2002年に創設し、芸術的価値と社会的価値の両方を追求するオペラ制作を行う。2011年にはエリザベス女王からMBE勲章を受け、2013年には、ゴードン・ブラウン元英国首相の著書『Britain's EverydayHeroes』で、30人の社会活動家の1人として取り上げられる。2016年には、アートとホームレスのための活動の国際的なネットワークを作るプロジェクト「With One Voice」を開始して、リオデジャネイロ文化オリンピックでは40のイベントを行った。

日にち 6月27日(水)

とき 19:00 - 21:00

場所 大阪大学中之島センター
507 講義室



問い合わせ先 06-6850-6111 (内線 2170)
h_tanaka@let.osaka-u.ac.jp (田中)

主催：大阪大学 CO デザインセンター
共催：NPO 法人こえとことばとこころの部屋 (ココルーム)